



## 第1回（2010年度）調査のご報告

「あなたのお庭には、どんな生きものがいますか？」  
……この問いかけに多くの声が寄せられました。

平成 22 年、NPO 法人 生態教育センターでは、日本全国の個人宅の「お庭」には、どのような生きものがいるのかを調べる、市民参加型生物調査「第1回 お庭の生きもの調査」を実施しました。

### ●第1回お庭の生きもの調査 概要

- ▽主催 : 特定非営利活動法人 生態教育センター
- ▽後援 : 環境省 生物多様性センター
- ▽協力 : 積水ハウス株式会社
- ▽調査目的 : 個人住宅の庭を訪れる生きものを定点で観察し、そのデータを収集することことで、生物多様性の現状把握と保全・回復のための施策立案の基礎データとして活用すること。
- ▽調査期間 : 第1回お庭の生きもの調査 平成 22 年 5 月 1 日～8 月 31 日
- ▽調査参加庭数 : 404 庭 (調査参加者数 : 906 名)
- ▽調査報告件数 : のべ 5633 件
- ▽参加者居住地 : 北海道石狩市から、沖縄県中城村までの全 47 都道府県
- ▽参加者年齢層 : 未就学児童を含む家族から、80 歳代の方まで

確認された生きものは、466種（昆虫類：356種、鳥類：45種、両生類：7種、は虫類：11種、ほ乳類：4種、その他：43種）になりました。アリの仲間は93%、クモの巣は91%、スズメは90%の庭で見つかり、ウグイスのやってくる庭は8%、コゲラは11%、イタチの住む庭もある……など、市街地の生物多様性における「お庭」の大切さが少しずつですが浮き彫りになってきました。

ご協力ありがとうございました。



●調査概要

▽指定した 20 種の生きものを庭見かけたら、シートに○を付けるだけの、初めての方でも簡単にできる生きもの調査。

▽調査参加庭数 : 361 庭

▽調査報告件数 : のべ 909 件

●お庭で見られた生きものランキング (対象 20 種)

順位	種	目撃された庭数	報告のべ件数	%
第 1 位	アリの仲間	337 庭	のべ 816 件	93.35%
第 2 位	クモの巣	329 庭	のべ 794 件	91.14%
第 3 位	スズメ	325 庭	のべ 757 件	90.03%
第 4 位	モンシロチョウ	261 庭	のべ 563 件	72.30%
第 5 位	バッタの仲間	217 庭	のべ 405 件	60.11%
第 6 位	トンボの仲間	200 庭	のべ 349 件	55.40%
第 7 位	カマキリの仲間	174 庭	のべ 308 件	48.20%
第 8 位	カエルの仲間	173 庭	のべ 355 件	47.92%
第 9 位	アオスジアゲハ	167 庭	のべ 334 件	46.26%
第 10 位	ベニシジミ	166 庭	のべ 307 件	45.98%
第 11 位	カタツムリの仲間	153 庭	のべ 276 件	42.38%
第 12 位	アブラゼミ	150 庭	のべ 227 件	41.55%
第 13 位	ヒヨドリ	149 庭	のべ 364 件	41.27%
第 14 位	ツバメ	145 庭	のべ 258 件	40.17%
第 15 位	コオロギの仲間	134 庭	のべ 196 件	37.12%
第 16 位	シジュウカラ	116 庭	のべ 215 件	32.13%
第 17 位	ハチの巣	109 庭	のべ 186 件	30.19%
第 18 位	ミンミンゼミ	92 庭	のべ 120 件	25.48%
第 19 位	メジロ	82 庭	のべ 122 件	22.71%
第 20 位	クマゼミ	71 庭	のべ 98 件	19.67%



メジロ



ベニシジミ



カタツムリの仲間

●お庭と生きものとの関係 ~ こんなことも分かりました。

○「シジュウカラ」がやってくるお庭は、庭に木立が多く、巣箱・えさ台などを備えている場合が多いようです。

▽木立があるお庭：全体平均 49.0%

▽巣箱等のあるお庭：全体平均 41.0%

「シジュウカラ」が見られ場合に限ると、それぞれ、「木立:55.5%」、「巣箱等:59.5%」と、全体平均よりも高くなっていました。



シジュウカラ

○「カエルの仲間」が見られたお庭は、近くに農地がある場合が多いようです。

▽「一番近い緑地」が「農地」

: 全体平均:39.1%

「カエルの仲間」が見られた場合に限ると、「50.3%」と、全体平均よりも高くなっていました。



モリアオガエル

お庭の生きもの調査 2010  
**お庭にやってくる野鳥の調査**  
 Garden Wild Life Watch 2010

●調査概要

- ▽指定した 16 種の野鳥を中心に、庭で見かけた野鳥の種類と数を記録する調査。
- ▽調査参加庭数 : 146 庭
- ▽調査報告件数 : のべ 341 件

●お庭で見られた野鳥ランキング (対象 16 種)

順位	種	目撃された庭数	報告のべ件数	%
第 1 位	スズメ	133 庭	のべ 299 件	91.10%
第 2 位	ヒヨドリ	89 庭	のべ 170 件	60.96%
第 3 位	キジバト	74 庭	のべ 142 件	50.68%
第 4 位	シジュウカラ	71 庭	のべ 126 件	48.63%
第 5 位	ツバメ	54 庭	のべ 118 件	36.99%
第 6 位	ムクドリ	47 庭	のべ 78 件	32.19%
第 7 位	メジロ	43 庭	のべ 70 件	29.45%
第 8 位	ハシブトガラス	38 庭	のべ 107 件	26.03%
第 9 位	ハクセキレイ	27 庭	のべ 42 件	18.49%
第 10 位	ハシボソガラス	25 庭	のべ 48 件	17.12%
第 11 位	オナガ	16 庭	のべ 24 件	10.96%
第 12 位	コゲラ	16 庭	のべ 20 件	10.96%
第 13 位	カワラヒワ	13 庭	のべ 22 件	8.90%
第 14 位	モズ	7 庭	のべ 10 件	4.79%
第 15 位	ヤマガラ	7 庭	のべ 9 件	4.79%
第 16 位	アオバズク	1 庭	のべ 1 件	0.68%

●こんな鳥たちもお庭に！  
 ～ その他 見られた鳥 ～

ウグイス カワウ  
 ドバト ゴイサギ  
 カササギ ヤマバト  
 アオサギ アマサギ  
 エナガ ダイサギ  
 ホオジロ キビタキ  
 コジュケイ シラコバト  
 シラサギ ウズラ  
 ツグミ キセキレイ  
 トビ キジ  
 ジョウビタキ ヒガラ  
 カルガモ コサギ  
 ヒバリ ガビチョウ  
 イソヒヨドリ オオルリ  
 カワセミ  
 セグロセキレイ



ヤマガラ



オナガ



カワセミ

●コゲラがやってくるのはどんなお庭……？

今回は見た人が少なかったコゲラ。彼らがやってきたと回答した人のお庭には、「ケヤキ、シラカシ、アカマツ、カエデ、カキノキ」などの木が主に植えてある傾向が見られます。コゲラは、在来種・自生種を中心に、緑の多い庭をよく利用しているようです。



コゲラ



● 調査概要

▽お庭で見かけたあらゆる生きものについて、種類と数を記録する調査。

▽調査参加庭数 : 118 庭

▽調査報告件数 : のべ 5,633 件



タマムシ

※「お庭の生きもの目録」調査で見られた生きものの全リストは、種別に整理し、後日 WEB サイトで公開する予定です。

● お庭で見られた生きものの種類

種別	目撃された種数	報告のべ件数
昆虫	356 種	のべ 3,981 件
鳥類	45 種	のべ 556 件
両生類	7 種	のべ 138 件
は虫類	11 種	のべ 294 件
ほ乳類	4 種	のべ 50 件
その他	43 種	のべ 614 件
計	466 種	のべ 5,633 件 (曖昧な表記のものも含む)

● こんな生きものたちもお庭に来ていました！

お庭の環境ではなかなか見られないと思われていた生きものや、そもそも出会うのが難しい生きものなどを発見した参加者の方もいました。例えば…… →

種	目撃された庭数	報告のべ件数
○ニホントカゲ	20 庭	のべ 44 件
○トノサマガエル	7 庭	のべ 11 件
○トノサマバツタ	6 庭	のべ 6 件
○モリアオガエル	2 庭	のべ 2 件
○イタチ	1 庭	のべ 3 件
○ノギリクワガタ	1 庭	のべ 2 件
○アブラコウモリ	1 庭	のべ 7 件

● 「お庭のエコロジー館」の仲間たちもいました！

2005 年日本国際博覧会（愛・地球博）「地球市民村」お庭のエコロジー館で、私たち生態教育センターが行ったプログラム「お庭のエコロジー」のお面の仲間たちも、やっぱりみんなのお庭にいました！



ノギリクワガタ



ニホントカゲ





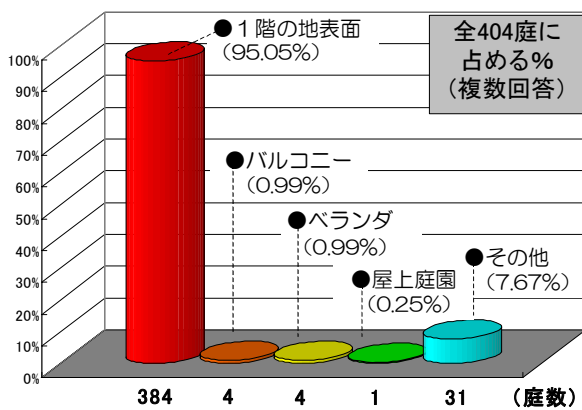
●調査概要

▽各調査のフィールドとなる、あなた家の「お庭」のプロフィールを把握します。  
 ▽2010 年度は初回調査のため、お庭の条件と各生きものを重ね合わせた細かな集計は行っていませんが、今後の継続的な調査と経年変化の把握によって、ゆくゆくはこれらの調査データを基礎として、「どんなタイプの庭が、どんな生きものにとって重要な役割を果たしているか?」「どんな庭と周辺地域の組み合わせが、より多くの生きものに利用されるのか?」「生物多様性保全に貢献するためには、どのような庭づくりが必要か?」などを考えていきたいと思えます。

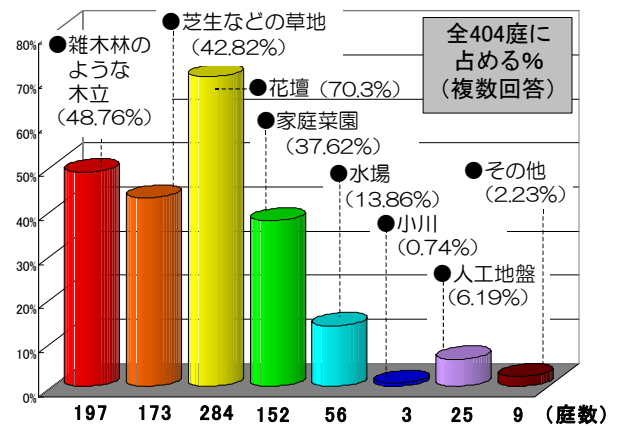
▽調査参加庭数：404 庭

●ご協力いただいたのは、例えばこんなお庭でした……

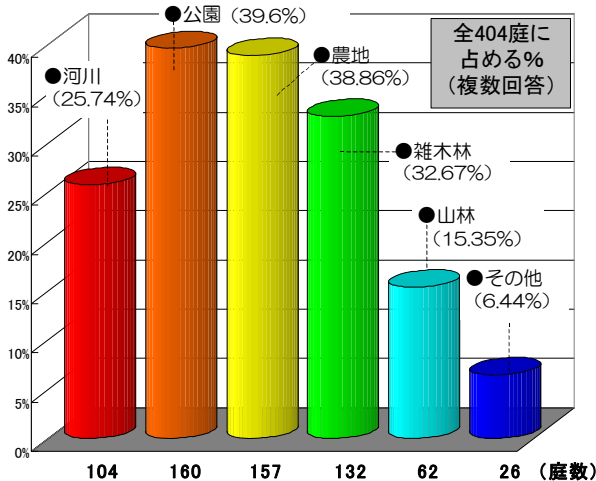
▼庭のタイプ



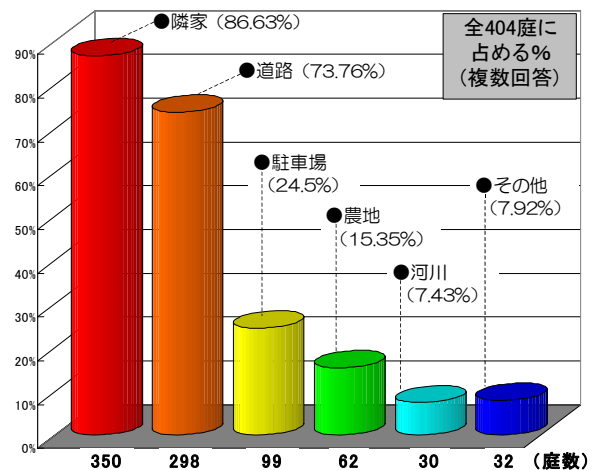
▼庭の構成要素



▼一番近い緑地



▼庭に接する環境



- 「お庭の生きもの調査」は、以下のような考え方に基づいて行われています。

## 『お庭の生きもの調査』の目指すもの

特定非営利活動法人 生態教育センター  
理事長 小河原孝生

昨年冬まで、新宿の高層ビルが見える庭の餌台に来るスズメは30羽レベルだったのですが、この冬は20羽程度に減っています。この10年ほどで、大きなミスジマイマイがいなくなり、一昨年からは、11月に姿を見せるジョウビタキが定着しなくなりました。昨年の夏は、ハラビロカマキリがいなくなり、赤トンボの仲間は激減しています。

このように、日頃見慣れた庭だからこそ、その変化に気づくのですが、一方では、記録がないと確実なことが言えません。これまでも、様々な市民団体や自治体が生きもの調査を進めてきましたが、大半は生きものの分布拡大や初認の時期を明らかにしようとするものでした。『お庭の生きもの調査』では、個体数の増減やまちづくりへの展開までを考慮し、次のような視点から取り組んでいます。

### 1) 市街地の生物多様性は、基盤となる庭の緑が支えています。

昨年、名古屋で開かれた都市の生物多様性に関する国際会議では、「アーバン・マトリックス」の重要性が議論されていました。生息地悪化のプロセスでは、まとまった緑地に穴があき、緑地が分断され断片化し、さらに規模が縮小していきます。そして、ついには周囲の環境の影響により、その質＝生物多様性が消耗していくと云われています。しかし、それだからこそ、消耗の度合いは基盤となる都市の環境（アーバン・マトリックス）＝「**点在する緑の質と量**」によって左右されることがわかってきたのです。

今後、日本の人口の80%が首都圏、または地方の中核都市に集中すると云われています。つまりほとんどの日本人は、生息地が島のように断片化し、縮小化してしまっている土地に暮らすこととなります。その都市域に残っている小さな島のような生息地の生物多様性は、周囲の環境（庭や街路樹などマトリックスの緑）の多様性に依存しているのです。

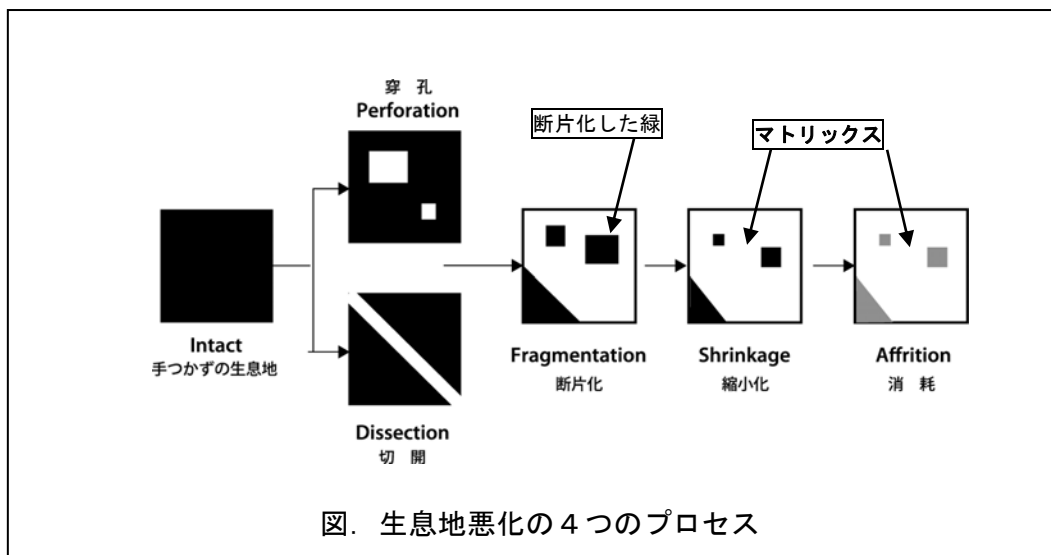


図. 生息地悪化の4つのプロセス

## 2) 庭は、持続可能な定点調査地として有効です。

常に観察できる庭だからこそ、誰もが専門家の援助とコーディネートがあれば、同じ場所で定期的に、個体数の確認までが可能です。イギリスの鳥学会では、すでに80年以上にわたる定量的なモニタリング(ガーデン・バードウォッチ)を成功させています。私たちも、子どもたちからお年寄りまで、一緒に楽しく学びながら参加できるように、簡単に始められる初心者コースを設定しています。

## 3) 誰もが、自分の庭から生物多様性の保全活動を始めることができます。

重要なのは、「私たちの家の庭は、様々な形で生物多様性に影響を与えている」ということです。私たちの庭が、生物の多様性をより高める機能を持っているとすれば、そのような庭が増えることによって、全体としての街や都市の生態系に、大きな恩恵をもたらす事ができるのではないのでしょうか。

小さなベランダから大きな庭まで、その生物多様性を向上させることは、残された緑地や市街地全体の生物多様性を保全する事に繋がっています。そして、参加者の皆さんにとっては、①野生生物とともに暮らす楽しみがあり、②身近な生物の営みから、多くのことを学べ、そして何よりも③生物多様性の保全に貢献できる喜びがあります。

昨年の10月、名古屋で開かれたCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)では、国際的に様々な目標が示されました。私たちは、これを誰もが参加できる活動にするためにも、生物多様性を身近なものとして感じる『お庭の生きもの調査』始まりの年にしたいと考えています。

**「お庭の生きもの調査 2010」では、少なくとも466種の生きものが見つかりました。  
庭から始まる生物多様性・・・あなたも一緒に始めてみませんか？**



# 都会の庭 命を育む

街には多くの鳥や虫たちが暮らし、点在する庭の緑が貴重なすみかになっています。全国の庭にどのくらいの生きものがあるのか、NPOが今年初めて調査しました。また、庭に自生種を植えたり、野鳥が訪れやすい造りにしたりと、住宅建築でも生きものへの配慮が広がっています。(吉川一樹)

東京都豊島区の村上政美さん(48)は今年、「お庭の生きもの調査」に参加した。NPO法人生態教育センター(東京都東村山市)の募集に応じ、5〜8月の4カ月間、ほぼ毎朝、庭の生きものを観察し、記録した。

村上さん宅には、約50平方メートルの庭がある。半分ほど芝生が敷かれ、ソヨゴやサンショウなど自生種を多めに植えている。

調査のときは、デジタルカメラと昆虫図鑑を手元に庭に出た。芝生には、スズメがミミズを食べ、何度も来た。メジロは一度だけ見た。木の幹にハヒロカマキリの卵のうが残っていて、アシナガバチも目撃。約30種の生きものを見つけた。「都会の庭にもこんなに生きものが来るんだと驚きました」と村上さん。

この調査は、同センターが積水ハウスの協力で参加者を募り、47都道府県から都市部や農村部に住む906人が参加。都市部の割合がやや多かった。「個人の庭を対

### NPO調査 東京の民家、メジロなど30種

象にした全国的な定点調査は国内で初めて」と同センター。データを集め、多様な生きものを育む庭づくりに役立てるのが狙いだ。

調査には、スズメやアブラゼミ、トンボなど定められた20種の生きものを確認する初心者コースと、庭で見かけた生きものの種類と数を記録する調査員コースがあり、少なくとも470種が見つかった。初心者コースには361人が参加したが、ミンミンゼミ、メジロ、クマゼミを見た人は100人に満たなかった。

カエルがいた庭は近くに農地がある場合が多く、シジュウカラは庭に木立や巣箱、えさ台があるところが多く見られるなど、庭や周りの環境と生きものとの関係も浮かんた。

同センターの小河原孝生理事(59)は「生物多様性」というと熟帯雨林や里山をイメージしがちだが、都市部で生きものを支えている庭にも注目してほしいと話



(抜粋)

●2010年12月3日朝日新聞(東日本版)でも取り上げて頂きました。

●「お庭の生きもの調査」は、以下のような皆様にご協力いただきました。

「お庭の生きもの調査」へ参加登録していただいた方のお住まいや年齢層などのプロフィールです。ご協力ありがとうございました。

▼都道府県別登録者数

北海道	5	東京都	74	滋賀県	23	香川県	10
青森県	4	神奈川県	73	京都府	24	愛媛県	8
岩手県	5	新潟県	10	大阪府	36	高知県	3
宮城県	17	富山県	3	兵庫県	58	福岡県	33
秋田県	1	石川県	1	奈良県	19	佐賀県	6
山形県	6	福井県	6	和歌山県	9	長崎県	7
福島県	13	山梨県	8	鳥取県	2	熊本県	6
茨城県	27	長野県	8	島根県	4	大分県	8
栃木県	22	岐阜県	33	岡山県	26	宮崎県	1
群馬県	12	静岡県	33	広島県	20	鹿児島県	1
埼玉県	51	愛知県	78	山口県	21	沖縄県	1
千葉県	53	三重県	30	徳島県	4	不明	3
				計	906		

▼年齢層別登録者数

～10代	56
20代	4
30代	106
40代	159
50代	176
60代	281
70代～	105
不明	19
計	906

●「お庭の生きもの調査」は、今後も続いていきます。

ご興味のある方は、ぜひ調査への参加をご検討ください。



○第2回（2011年度）の調査は、5～8月の期間に実施いたします。

内容や方法にほとんど変更はなく、生きものの初心者の方も、ベテランの方も、自宅で楽しみながら生物多様性保全活動に参加することができる調査になっていますので、ご賛同いただけるようであれば、ぜひエントリーをお願いいたします。

▼第2回調査から新たに参加を希望される方は、メンバー登録をお願いいたします。

▼第1回調査の際にご登録済みの方は、新たな登録は不要です。

- ・調査シートをご利用の方は、昨年同様、郵送・FAXでご報告ください。
- ・WEBサイトをご利用の方は、これまでと同じID・パスワードで報告専用ページにご入場いただけますので、必要事項を入力し、送信してください。
- ・昨年度、登録だけはされたものの、調査や報告はできなかった方でも、もちろん参加可能です。

■お問い合わせ、参加申込みは……

[主催]



N P O 法人  
生態教育センター  
<http://www.wildlife.ne.jp/>

〒189-0013  
東京都東村山市栄町 2-28-5 小河原ビル 3F  
TEL:042-390-0032 FAX:042-390-1237  
e-mail : ikimono@wildlife.ne.jp